

# んだすな

## 「子育てが楽しいおおだて」を目指して

平成25年第8回あきたスギッチファンド・本ファンド30万円コースに採択（子育て情報の発信&夏休み親子フェスティバル）され、大館市で子育て支援に取り組んでいる「おおだて de 子育て」の島田真紀子代表にお話を伺いました。

ホームページ制作の仕事をしている島田さんは、大館に移り住んだとき、大館市には育児関連情報がとても少なかったため、Web サイト「おおだて de 子育て」およびイベントカレンダーで子育て情報を発信。

また、夏休み中に子どもを連れて遊びにいける場として「夏休み親子フェスティバル」を企画しました。



\*島田真紀子さん（左）と子どもたち

平成25年7月24日から26日までの三日間、大館樹海ドーム隣接の「パークセンター」にて開催し、三日間述べ150組の親子が参加しました。郷土博物館の先生による科学実験、ダンボールを使ったゲーム、ベビーマッサージ&ベビーマッサージ、育児相談等を行いました。

高校生ボランティアも多く参加しとてもにぎやかでした。子育てアンケートでも、「雨、雪の日でも子どもと一緒に遊びに行ける場所」「年末年始やお盆に帰省されたお孫さんと一緒にいける場所」を希望する声が多くあげられました。



☆ダンボールを使った自由遊び



\*昔あそびのゴムとび

### \*助成金は目標へ向かうジャンプ！

昨年、あきたスギッチファンド助成金の公開審査に参加した際の、審査終了後の審査員の講評が今でも心に残っています。「審査員：私たちが団体として活動をしてきたとき、助成金というものはほとんどありませんでした。団体メンバー皆手弁当で活動を始め、20年以上続けてきました。最初に助成金ありきではなく、自分たちで活動できる道をぜひ探してみてください。」

活動を継続するためには団体としての自覚が必要不可欠だと、改めて認識させられました。

助成金をいただくことで活動の可能性は確実に広がります。自分の足で跳ぶのと、ジャンプ台を使って跳ぶくらいの違いがあると思います。助成を受けたということは、「ジャンプ台を使わせていただいたのだ」という意識を持ち、たくさん跳んだ分をしっかりと将来へつなげていく責任があると思います。昨年度の「夏休み親子フェスティバル」は、大館市子ども課が企画をして今年度も続けてくださることになりました。一団体にできることは限られていますが、たくさんの方々と連携しながら、「子育てが楽しい大館」を目指してこれからも活動を続けていき、いずれは助成金がなくても自立できるよう、頑張っていきたいと思っています。」と明るく話され、3人の息子さんのお母さんでもある島田さんは、二人のお兄ちゃんの手紙送迎に向かいました。

### \*今後の活動展開

- ・大館市の子育て情報のプラットフォームとして、子育て支援活動団体同士のネットワークを形成していく。
- ・Web でのイベント情報発信を継続していく。

わわわ de 子育てカフェ  
～話して和んでhappyな輪をつくら～

- ・子育て中のママのための情報&交流会開催
- ・7月18日（金）12：00～16：30

大館市中央公民館 児童室  
通常は毎月第4火曜日 10-13：30 開催ですが、公民館休館日の時は変更します。 <http://oodate-kosodate.com/>



# 「未来まで四季美湖に桜を残そうプロジェクト2014」が行なわれました。

6月24日を「植樹の日」とした、森吉四季美湖を守る会、グリーンメイク（清流を守る会）、北秋田市立前田小学校、の3団体が主催する「未来まで四季美湖に桜を残そうプロジェクト2014」が、森吉ダム・森吉四季美湖で行なわれ、前田小学校児童69名、北秋田市職員、森吉山ダム管理支所、地元住民やボランティアなど約120名が参加し、森吉ダム・四季美湖周辺で桜を植樹しました。

森吉四季美湖を守る会が「県民参加森づくり事業」の一環として、四季美湖周辺が千年先まで残る公園になるように、との思いを込めて平成23年度から続けている取り組みです。また、次代を担う子どもたちがふるさとを愛し、自然を大切にする心を育ててもらおうと昨年从前田小学校全校児童も参加し、これまでにヤマザクラの苗木300本が植樹されました。



前田小学校全校生徒とボランティアの皆さん

開会式で森吉四季美湖を守る会の佐藤代表は「植樹は今年で4回目です。昨年はせっかく植樹した桜が水害で枯れてしまいましたが、皆さんには桜の苗木とともに地元を愛する心も植えてほしい。」と挨拶がありました。津谷市長は「ダムは水や電気の供給だけでなく、災害から守ってくれたりする。桜の木を育てるとともにふるさとを思う気持ちも一緒に育てて下さい。」と子どもたちに呼びかけました。

児童を代表して庄司唯さん（6年）は「今日の植樹の日を私たちはとても楽しみにしていました。放流したイワナやサクラマスが元気に大きく育つように、私たちの植える桜が、ずっと未来まできれいに咲き続けるように、心を入れて活動したいと思います。」と述べました。

この後ダム堤防下流に移動し植樹開始！ここはダムで使用される緊急用のヘリポート地。

## \*前田小学校 嶋田校長より

昨年子どもたちは、ボランティアとして地域を盛り上げたりふるさとを守っていかうとしている人がいることを学びました。

仕事でもボランティアでも、誰かの役に立つ、ふるさとの役に立つ、という生き方を探して困難を乗り越えていける子どもになってほしいと思っています。桜植樹のように市や県、いろいろなボランティアの方々と一緒に活動する機会はあまりないので、児童一人一人にとって大変意義のある活動としてこれからも継続していきたいと考えています。

暑さの中、皆さん汗だくになりながらもボランティアの手を借り、添え木に結び付けたり、最後に水を与えたりと3～4年生のヤマザクラ150本を手分けして植えました。

植樹の後は様田湖畔に移動し、阿仁川漁協の協力でイワナとサクラマスの稚魚、それぞれ三千匹を放流しました。



桜の木も、魚たちも みんな大きく育ててね！



## \*四季美湖を守る会佐藤代表より

ダムの水源地整備から始めた植樹ですが、年々地元協力やボランティアも増え、周知されてきてうれしい。

これからは観光客誘致も視野に入れて、桜の名所にするための2,000本以上の植樹と、ここは四季美湖なので四季折々の草花等を植え皆さんに楽しんでもらいたいと思っています。

公園づくりにあたっての休憩所やトイレ等課題が山積していますが、県や市、ダム関係者等にもご協力をいただいて、地域づくりにもつなげていきたいと考えています。

## 第1回

# STEP UP!! 市民活動

7月の暑さに弱い高坂翔です。北部市民活動相談業務の担当となり、4か月目となります。

最近、市民活動をしている方からの相談に多くあるのが「活動資金を増やすにはどうしたらよいか」、また「助成金をとりたい」というものです。昨年8月の『んだすな』においても触れておりますが、“ファンドレイジング”という活動資金を得るための力をいかにつけていくということが考えられます。

ファンドレイジングとは、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称です。NPO等の市民活動団体において、サービスを利用する受益者が支援対象者である場合が多く、サービスを提供する側が対価を得にくいことがあります。そのため、社会的課題を解決していき、且つ活動を続けていくために、積極的な活動資金の確保を必要とする団体が増えてきています。

### 北部市民活動サポートセンター

暮らしや地域を良くしたいと自ら進んで行動している人、行動したい人を応援します!!

NPOに関する相談（NPO 法人設立、会計・経理、助成金情報、団体運営など）ボランティア、NPO、企業などをつなぐ窓口です。

【相談受付】月/火/水/金/9:00~18:00  
土/9:00~17:00

【お問合せ】高坂 翔 / 畠山 真由美

ファンドレイジングに取り組むには、次の3つが大事なポイントとなります。

- ①活動を見直す
- ②本当に必要かどうか明確にする
- ③お金の使途を明確にする

いままでの活動を見直すこと（自らの活動がどのように・だれに貢献していくのか等）によって、なぜ活動していくのか、また本当にそのお金を必要としているのかどうか具体的に見えてきます。また、金額の使途を具体的（※1）に透明化することによって、資金を提供する側や活動を支援している会員の方にも理解を得られやすくなります。

この3つに沿って事業計画を練ることで、活動資金を得ることだけでなく、さらに活動の広がりが見えてくることと思います。

（※1 株式会社を例に挙げると、出資者である株主に対し株主総会で詳細な事業報告を提供する責任があります。NPOでも同様に、会員に対し事業報告書等で説明することで今後の活動がしやすくなります。）

編集：北部市民活動サポートセンター  
〒017-0842

秋田県大館市字馬喰町 48-1

• TEL. 0186-49-8553

• FAX. 0186-49-8589

• <http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

• E-mail [angec1@io.ocn.ne.jp](mailto:angec1@io.ocn.ne.jp)

